

「祈りのツリーづくり」おとうさんといっしょに！！

東日本大震災により、ひとり親となった子どもの数は、岩手県で481人（2012年3月28日現在）に上っています。

遺児の中でも、被災により父子家庭となった子どもたちは、家事・育児を主に担ってきた母親を失い、きびしい状況に置かれています。

2012年12月2日、宮古市内のショッピングセンター「マリンコープDORA」で『お父さんと一緒にオーナメントをつくろう！』と呼びかけ、参加した20組の親子のうち、6割がお父さんと一緒に参加でした。



トナカイ、ツリー、ブーツ、ボール、ハウスの5種類のオーナメントから好きな形を選び、白い厚紙でできた型を組み立てて、自由にペンや色紙、キラキラシールを貼ったり、お父さんも真剣なまなざしで一緒に作りました。「おとうさんといっしょにつくって、たのしかった」という女の子、ツリーにかざる男の子、お母さんは、「ゆっくりお買い物ができるよかった」など楽しいひとときでした。



▲できあがったオーナメントにごきげんな子どもたち、家族で記念写真をパチリ!▲

岩手県ユニセフ協会東日本大震災支援スタッフの福士久美子さんは、保育園・幼稚園におさそいチラシを配布、そのせいもあり、多くの参加者に思わずにっこり。全国から参加したボランティアのみなさんと一緒に、県ユニセフ協会の藤原事務局長も参加しました。

日本ユニセフ協会では、被災地の父子家庭支援の取り組みの一つとして、今回の「祈りのツリー」づくりを開催しました。

来年も被災地の子どもたちに寄り添いながら支援活動に取り組んでいきます。

(2012年12月20日：岩手県ユニセフ協会作成 電話：019-687-4460)